

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年																
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~2日	9月 ~9日	9月 ~16日	9月 ~23日	9月 ~30日	10月 ~7日	10月 ~14日	10月 ~21日	10月 ~28日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	27	31	35	35	32	22	34	32	24
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	21	19	5	6	22	19	20	13 (15)	13
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	3	4	2	2	2	5	3	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	1	4	7	0	8	5	1	7	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	4	6	2	4	2	2	0	2 (3)	2
腸炎ヒプリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第43週(10月22日~10月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	11	結核	11	1	1			5		4	
三類	0	発生なし	0								
四類	9	重症熱性血小板減少症候群	1		1						
		つつが虫病	4	4							
		日本紅斑熱	1			1					
		レジオネラ症	3			1		1	1		
五類全数	18	アメーバ赤痢	1	1							
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2			1					1
		水痘(入院例)	1					1			
		梅毒	5					1			4
		百日咳	5			3		1	1		
		風しん	3					3			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

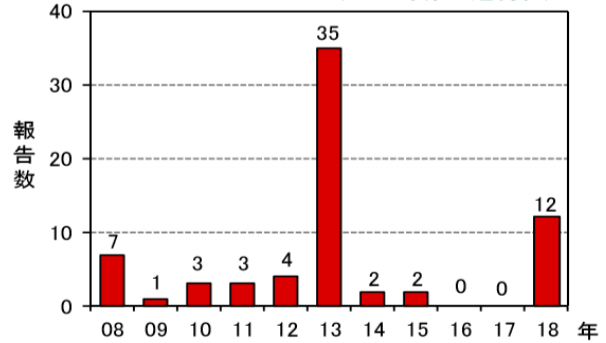
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第43週 10/22～10/28)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

風しんの年間報告数の推移
(2018年第43週現在)



1. 風しん

3件の報告があり、今年の累計は12件となりました。妊娠初期の女性が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群を発症することがあるため、妊婦への感染を防ぐことが重要です。

2. インフルエンザ

定点医療機関から12人(定点当たり0.32人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が5件検出されています。

3. 感染性胃腸炎

定点当たり5.63人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

【参考】風しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	12	0.32	0.09	急増	小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.72	横ばい
小児科	咽頭結膜熱	7	0.29	0.38	急増	眼科	RSウイルス感染症	5	0.21	1.02	急増
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	2.50	2.12	急増		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	急増
	感染性胃腸炎	135	5.63	5.79	急増		流行性角結膜炎	6	0.75	0.60	急増
	水痘	10	0.42	0.39	急増	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	急増
	手足口病	37	1.54	1.41	急増		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	急増
	伝染性紅斑	1	0.04	0.11	急増		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	急増
	突発性発しん	9	0.38	0.44	急増		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	急増
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.34	急増		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	急増

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	110	男性(10歳代)、女性(10歳代)、女性(70歳代)、男性(80歳代)、女性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	34	女性(90歳代)
5	水痘(入院例)	1	2	男性(30歳代)
5	梅毒	1	95	男性(20歳代)
5	百日咳	1	53	女性(10歳未満)
5	風しん	3	12	男性(30歳代)、男性(50歳代)、女性(50歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 咽頭炎	0	男	2018/08/05	糞便	ハレコウイルス2型 ハレコウイルス4型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	4	男	2018/09/13	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	1	男	2018/09/15	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 細気管支炎	3	男	2018/09/16	咽頭拭い液 鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 気管支炎	4	男	2018/09/19	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.0) 気管支炎	2	女	2018/09/20	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	細気管支炎	4	男	2018/09/21	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	4	女	2018/09/21	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎 肺炎	4	女	2018/09/21	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.0) 気管支炎	9	男	2018/09/21	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.2) 気管支炎	6	男	2018/09/22	咽頭拭い液 鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	5	女	2018/09/22	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	5	女	2018/09/25	鼻汁	エンテロウイルス68型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載